

伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人 第2回無担保投資法人債 (別称：IAL グリーンボンド) の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎）は、伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人が発行するグリーンボンド（以下「本グリーンボンド」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本グリーンボンドで調達された資金は、全額をグリーン適格資産の基準を満たす資産であるアイミッションズパーク印西の取得時の借入金（そのリファイナンスを含みます。）の返済資金に充当する予定です。

伊藤忠アドバンス・ロジスティクス投資法人は、本グリーンボンドの発行を含むグリーンファイナンス実施のために「グリーンボンド原則 (Green Bond Principles) 2018年版」^{*1}「グリーンボンドガイドライン 2017年版」^{*2}および「グリーンローン原則 (Green Loan Principles) 2018年版」^{*3}に即したグリーンファイナンス・フレームワークを策定し、その第三者評価として株式会社日本格付研究所から「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」^{*4}の最上位評価である「Green 1 (F)」を取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集・お客様のSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。また、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際NGOであるClimate Bonds Initiative^{*5}とパートナー契約を締結しています。その後2021年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はグリーンボンド等の引受けなど、さまざまなお客様のSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客様の社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客様のさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客様の金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上

- ※1 「グリーンボンド原則 (Green Bond Principles)」とは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association: ICMA) が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会 (Green Bond Principles Executive Committee) により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドラインをいい、以下「グリーンボンド原則」といいます。なお、グリーンボンド原則は随時更新されますが、本投資法人がグリーンファイナンス・フレームワークを策定した際に参照したグリーンボンド原則は明示された年版のものであります。
- ※2 「グリーンボンドガイドライン 2017 年版」とは、グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的な対応を検討する際に参考とし得る、具体的な対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が 2017 年 3 月に策定・公表したガイドラインです。以下「グリーンボンドガイドライン」ということがあります。なお、グリーンボンドガイドラインは随時更新されますが、本投資法人がグリーンファイナンス・フレームワークを策定した際に参照したグリーンボンドガイドラインは明示された年版のものであります。
- ※3 「グリーンローン原則 (Green Loan Principles)」とは、ローン市場協会 (LMA)、アジア太平洋地域ローン市場協会 (APLMA)、並びにローンシンジケート・トレーディング協会 (LSTA) により策定された環境分野に用途を限定する融資のガイドラインです。以下「グリーンローン原則」といいます。なお、グリーンローン原則は随時更新されますが、本投資法人がグリーンファイナンス・フレームワークを策定した際に参照したグリーンローン原則は明示された年版のものであります。
- ※4 「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」とは、ICMA が策定したグリーンボンド原則、LMA、APLMA、並びに LSTA が策定したグリーンローン原則並びに環境省が策定したグリーンボンドガイドライン及びグリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドラインを受けた発行体又は借入人のグリーンボンド発行又はグリーンローン借入方針 (グリーンファイナンス方針) に対する第三者評価をいいます。当該評価においては発行体又は借入人のグリーンファイナンス方針に記載のプロジェクト分類がグリーンプロジェクトに該当するかを審査し、調達資金の用途 (グリーンプロジェクトへの充当割合) を評価する「グリーン性評価」及び発行体又は借入人の管理・運営体制及び透明性について評価する「管理・運営・透明性評価」を行い、これら評価の総合評価として「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」が決定されます。なお、「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」は、個別の債券又は借入に関する評価と区別するため、評価記号の末尾に (F) をつけて表示されます。本投資法人に係る「JCR グリーンファイナンス・フレームワーク評価」は、以下の JCR のホームページに掲載されています。
- <https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>
- ※5 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100 兆円の債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。